



議会だより

第六号

平成6年1月25日

発行/岡垣町議会 編集/議会広報委員会

〒811-42福岡県遠賀郡岡垣町大字野間697-1 TEL (093)282-1211 FAX (093)283-3027



高倉神社にて



も く じ	年頭所感..... 2
	定例会と臨時会の概要 3～4
	一般質問..... 4～6
	委員会だより..... 7
	シリーズほか..... 8

明けましておめでとうございます



今年も事務局職員ともどもよろしく申し上げます。



議長 長谷川 勝

年頭所感

みなさま明けましておめでとうございます。
町民のみなさまには、日頃から町政に対する暖かいご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

ご承知のとおり、現在の社会情勢は、国際化、情報化、高齢化が急速に進行しつつあります。

こうした中で岡垣町は、駅前広場、これに接続する都市計画道路の整備、文化施設「岡垣サンリーアイ」の完成など、都市基盤整備が着実に進み、都市計画事業もほぼ終了局面を迎えようとしています。

しかし、今後は21世紀に向けた新たな町づくりが求められており、高齢化社会の到来に備え「おかがき福祉の里」の建設も、平成8年完成をめざし進行中であります。

町議会といたしましても、これら重要施策に積極的に取り組むため、昨年「駅前再開発に関する調査特別委員会」と「おかがき福祉の里建設特別委員会」の二つの特別委員会を設置いたしました。

私ども議決機関といたしましては、より豊かな住みよい町づくりをめざして、今後さらに創意工夫を重ね、みなさま方の期待にこたえるよう決意を新たにいたしております。

本年もより一層のご支援をお願いするとともに、みなさま方が健康で活躍されんことを心からお祈り申し上げます、新年のごあいさついたします。

平成5年 第四回定例会

平成5年第四回定例会は、12月6日から22日まで開催されました。

町長からは、平成4年度の決算など十二議案が、議員からは、請願・陳情にもなう意見書など十二議案が提案され、可決十五件、認定五件、同意一件、了承一件、否決二件という結果になりました。

固定資産評価審査委員会員の選任について（同意）松丸委員（山田区）が再任されました。



松丸正昭氏

遠賀・中間地域広域行政事務組合規約の変更について

町にあった伝染病院廃止のための規約の変更です。

（可決）

平成5年度一般会計補正予算（第4号）（可決）

福祉基金積立金の増額、広域行政事務組合負担金の増額などによる予算の補正です。

これらの補正により、歳入歳出ともに三億九千七百四十一万円になりました。

平成5年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）（可決）

国庫支出金、療養給付費交付金などの歳入増、保険給付費などの歳出増により、歳入歳出ともに二千六百二十万円の増額となり、予算総額は十八億七千四百七十万円になりました。

平成5年度公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）（可決）

景気対策のための事業費の追加により、歳入歳出ともに四千九百六万円の増額となり、予算総額は十六億四千六百十九万円になりました。

平成5年度水道事業会計補正予算（第2号）（可決）

諸経費の増加、施設の整備のため、収益的支出が七十四万円、資本的支出が百八十万円増額されました。

平成4年度一般会計歳入歳出決算認定について

（賛成多数認定）平成4年度の町の成果を示したもので、歳入総額九十五億八千六百四十五万円、歳出総額九十二億七千五百五十万円となりました。そのうち三十三



利用者が7万人を越えた岡垣サンリーアイ

億四千八百万円（36%）が岡垣サンリーアイの建設に投じられました。また、他の四つの特別会計も以下の金額で決算しました。

平成4年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について（賛成多数認定）歳入総額十七億七千八百六十万円、歳出総額十七億五千四百七十八万円。

平成4年度老人保健事業特別会計歳入歳出決算認定について（賛成多数認定）歳入総額二十二億九百六十六万円、歳出総額二十一億八千五百九十二万円。

平成4年度住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について（認定）歳入総額五百三十六万円、歳出総額四百七十五万円。

平成4年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について（賛成多数認定）歳入総額十二億九千五百七十六万円、歳出総額十二億四千八百四十八万円。

平成4年度一般会計予算継続費精算報告書（了承）総合ふれあい公園建設工事の継続費が精算報告されました。

消費税税率引き上げに反対し、消費税廃止を求める意見書（賛成少数否決）

証人喚問によるゼネコン疑惑の徹底究明を求める意見書（可決）

小選挙区制の導入に反対する意見書（賛成少数否決）

請願・陳情

本定例会に提出された陳情は八件で、継続審査となっていた請願一件、陳情四件を合わせて合計十三件が審議され、請願は採択、陳情は採択六件、みなし採択一件、継続審査五件という結果になりました。採択された請願や陳情に関する意見書も可決され、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付されました。

乳製品輸入自由化阻止並びに平成6年度学校給食用牛乳補助金の確保に関する陳情（採択）

「コメ市場開放反対の意見書」の提出に関する陳情書

(採択)

コメの輸入自由化に反対する意見書の採択を求める陳情書 (みなし採択)

郵政事業の現行経営形態堅持を求める意見書の採択に関する請願について(採択)

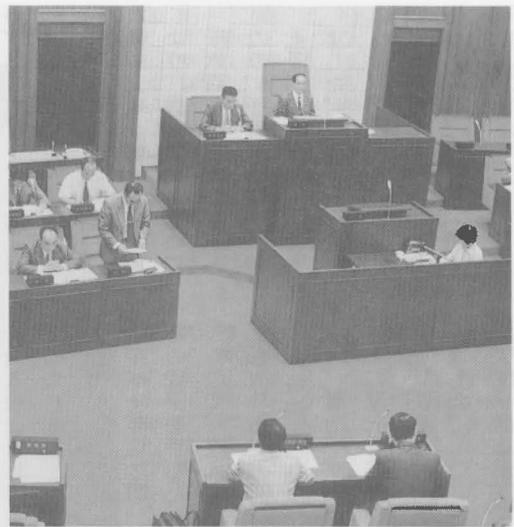
「法律扶助に関する基本法の制定と財政措置の拡充強化を求める意見書」の提出に関する陳情書 (採択)

診療報酬の抜本改定、民間医療機関に対する財政援助を求める陳情書 (採択)

平成6年度農業農村整備費の予算拡大に関する陳情書 (採択)

200海里体制の早期確立を求める政府への意見書提出について (採択)

診療報酬の引き上げを国に求める意見書に関する陳情書 (継続審査)



平成5年には、臨時会を含め12回の議会が開催されました

臨時会

平成5年第八回臨時会

平成5年第八回臨時会は10月25日に開催され、人事案件一件を同意しました。岡垣町教育委員会委員の任命について (同意)

中村委員(三吉区)が再任されました。



中村サツキ氏

福祉の里建設に関する陳情書 (継続審査)
精神障害者共同作業所への補助金に関する陳情書 (継続審査)
陳情書(ゴルフ場建設に伴う災害の防止について) (継続審査)

一般質問

竹内和男 議員

心身障害者対策に
どう取り組むのか

質問 11月26日に参議院では、心身障害者対策基本法の一部を改正する法律が、名称も障害者基本法と改め成立した。

この改正で、障害者の自立と社会参加の推進が強く進められることになろうが、同法は対象を身体障害、精神薄弱または精神障害とすることとしている。

さらに付帯決議で、てんかん及び自閉症を有する者ならびに難病に起因する身体または精神上の障害を有する者で長期にわたり生活上支障のある者も法の範囲に含まれるとしている。

町長は、改正法を今後どう施策に生かしていくのか。
答弁 法改正に関する詳細がまだ明らかでないが、総

体的には、今後も福祉施設などの充実を図り、法の趣旨に沿った事業計画を進めていくことに努める。

質問 次に、精神障害者共同作業所への補助金に関する陳情についての取り組みについて説明を願う。

答弁 郡の町長会で検討したが、作業所が発足してまだ1年たっていないこと、無認可自主運営の施設であることなどから補助の件については保留している。

質問 法定外の小規模作業

所は、全国で法定の授産施設の定員四万八千人に対し四万六千人が利用しており、すでに社会設備として機能している。
小規模作業所に対する助成は、県も来年度より市町村を対象とした補助事業とすることを決定しており、町も合わせて援助していくべきではないか。
答弁 遠賀保健所を交えて四町で協議する。予算編成との関係もあるので結論を早急に出したい。



はまゆう共同作業所

久保田秀昭 議員

ゴルフ場建設推進の考えは変わらないのか

質問 八千五百人を越えるゴルフ場建設反対署名に示されるように、ゴルフ場建設に対する町民の合意が無いことは明らかである。

答弁 ゴルフ場建設に反対する団体が、選挙であなたを支援したから建設も支持されたとするのは納得できない。全町民対象に訴えたのか。

質問 紙面をもって全町的にやってはいるが、選挙前に後援会活動で、各地域数十か所で座談会的なものを受け、そこで推進を表明した。

質問 県のゴルフ場開発規制が平成6年4月1日より、自然環境保全などの理由により厳しくなる。

質問 県が予備審査を受理する見通しについてどのように考えているのか。

答弁 不況で税収が落ち込んでおり自主財源確保が必要であり、そのために建設

は推進する。自然環境については、他の施設を調査したが問題はなかった。見通しについては微妙であるが、全くなきにもあらずと考えている。

質問 県の規制が厳しくなり、町民の反対も広がっている。しかも、業者は町が求めた開発に関する書類の提出を約束したにもかかわらず行っていない。

質問 町に迷惑はかけないと言っているし、信頼もしている。業者疑問を感じる。業者と何か約束があるのか。

質問 正直に言うが、議会が議決した経過もあり、またあなたたちの意思も反映して、業者が自然消滅的に撤退するのがよいという考えもあった。しかし、約束をきちんとさせよというのなら、きちんと建設を進めるよう働きかける。

質問 八千五百人の反対署名の声を代表して、再検討を強く求め質問を終わる。

平山 弘 議員

老人保健福祉計画の中身は

質問 生き生きと豊かな生活を送る上で、保健・福祉・医療は個人も社会も関心が高い。特に高齢化が進む中で保健・福祉について不安がある。ゆえに住民は、この計画に期待している。

質問 この計画の意義と目的、サービスの目標について答弁を求める。

答弁 この計画に基づいて、健康の保持、在宅福祉の強化、保健福祉施設の整備や生きがい対策を進める。寝たきり老人や痴呆性老人などの実情を掌握し、在宅サービスと施設サービスを一体のものとして保健・福祉の連携と施設の拡充に取り組むため、平成11年を目標にこの計画を策定した。

町内巡回バスの実施計画はあるのか

質問 町内には、ことぶき荘や岡垣サンリアイ、公民館などが点在している。福祉の里も計画されている。高齢者に潤いのある生活を送ってもらうため、交通手段を持たない町民のために交通の便の悪い所とこ

これらの施設を結ぶ巡回バスの実施を求める。

答弁 本町は、行政区域が広く、集落も散在している。バス路線のない地域もある。高齢者が施設を利用しやすい環境を整えるため、平成6年に福祉バスの運行を計画している。

福祉の里が完成した場合は、各施設とのネットワークを考えている。

入札結果の公表をせよ

質問 入札の公正を確保する手始めとして、入札に関する情報の公開を求める。

答弁 一定期間のなか(3か月)に一回で入札結果を公表したい。入札現場の公開についても、先進地を調査し方法を検討していく。一般競争入札も、検討し取り組む意向を持っている。

おかがき福祉の里施設配置予定図



細川光利 議員

町の活性化に映像マスメディアを活用してはどうか

質問 「地方の時代」と言われている。今日「21世紀」を展望した「ひとづくり、まちづくり」をどのように考えているのか。

答弁 「まちづくり」を考えるなら、まず「ひとづくり」を優先しなければならぬ。

質問 「地方の時代」の町づくりとは、特色や個性を持った町づくりをすることである。

今日の情報化時代では、映像マスメディアの活用は必要不可欠のことと思うが。

答弁 児童の教材として、町の観光PRや施設の紹介など活用すべき分野は多い。

質問 教育長にたずねる。学校教育にも映像を使った授業が行われていると思うが。

答弁 各小学校とも各種情報機器およびビデオなどを

活用している。

映像による授業は必要である。

質問 町内には、教育、福祉など各種の団体が活動している。また、農業や漁業、商工業者の生活もある。

それらを映像化し、町の紹介や学校の教材などに役立てれば、町に愛着を持つ

心や自治意識を育てることにつながるのではないかと

町は活性化と発展のため

に映像マスメディア(ビデオ)を活用することは、「ひとづくり、まちづくり」の上からも重要だと考えるが。

答弁 来年度には、映像マスメディアに関する予算を計上する考えである。



映像マスメディアは、今後どう活用されていくのか

谷口佐賀雄 議員

指圧、マッサージ、針灸治療の助成の予定はあるか

質問 平成4年12月定例会の中で、指圧、マッサージ、針灸などの治療者に対する治療費の助成を提案したが、その後の調査結果はどうなっているか。

答弁 平成7年度から助成を実施する方針である。

町民憩いの家を建設しないか

質問 町には老人憩いの家が三ヶ所あり、60歳以上の高齢者が利用しているが、町民全体を対象とした憩いの家とか健康センターの建設について考えはないか。

答弁 平成9年度には、地域福祉センターの関連施設である屋内体育施設を建設する計画であり、そこを健康と福祉の増進に活用していただく予定だ。



平成7年度から助成開始か

若者のふれあいの場を設置するよう提案する

質問 青年男女のふれあいと交流の場を、公共施設を活用して設置してはどうか。

答弁 岡垣サンリーアイなどの施設を利用して、町のPRを含め、イベントのようなものをやっていきたくて考えている。

町内業者の育成をどう考えているか

質問 町内業者を育成する

ことは、単に事業者の営業目的の達成や生活の安定を補償することになるだけでなく、町税の増収による町財政の健全化につながるのをはじめ、町民の雇用の安定にも貢献することになる。町当局は、それについてどのような見解か。

答弁 すべて町内業者へということにはならないが、公正な入札を前提とし、今後もつとめて町内業者を育成していく。



大津市下龍華地区での研修

文教厚生常任委員会

委員会 だより

人権尊重の町づくり のために

私たちは、10月14日から16日の3日間の行政視察を行い、町民と同和地区住民が力を合わせ「同和行政」を終結させた、和歌山県吉備町と滋賀県大津市下龍華地区を視察しました。

岡垣町は、平成6年度に「物的事業終結」をめざしています。



職員から古墳の説明を受ける委員

続々出土する古墳群

12月9日には、会期中の調査活動として糠塚地区の埋蔵文化財発掘現場の現地視察を行いました。

発掘現場では、古墳時代末期の人骨三体や装飾品、多数の土器、古墳が出土しており、当時の人びとの生活や健康状態、人口などを解明する上で貴重な資料となるとのことでした。

経済建設常任委員会

開通を急げ本村く岸元線

第四回定例会の会期中の12月16日に当委員会は、現在工事が進められている、



岸元の現地を調査中の委員

町道本村く岸元線の現地調査を行いました。

開通すれば、三号線を使わずに高陽団地から鹿見島本線に沿って戸切方面へ出る事が可能となるので、その開通が待たれます。

砂の堆積が進む汐入川河口

同日は堆積する砂の取り扱いが問題となっている矢矧川、汐入川の河口の現地調査も行いました。



汐入川河口に堆積した砂

どこから運ばれてくるのか、汐入川の河口に至っては、その大部分が堆積する砂に埋められています。

松食い虫の防除、計画が進められるサイクリング道路、ウミガメの保護、バギー車の進入対策、ごみの不法投棄問題など、三里松原を保全するには多くの問題が山積しています。

撤去されたマリシー号



撤去作業でほぼ解体されたマリシー号(12月25日撮影)

控室

座礁して2年が経過しようとしていたマリシー号がやっと撤去されました。

波津の漁業関係者に莫大な損害を与え、国や県の関係機関、町の執行部や私たち議会を困惑させ苦惱させたこの貨物船も、大型の作業機械によって、今はもうただの鉄くずと化してしまいました。

急に明るくなった海岸を見たとき、二度とこのような災難が起きないように、また、早く漁場が元の豊かな海に回復するようにと祈るばかりです。



撤去作業前のマリシー号(10月27日撮影)

編集後記

福沢諭吉は、明治10年頃「内安外競」即ち内に和して外に競うということを力説した。

自民党政権から連立政権へ、コメの自由化へと政治はグローバルに動いている。今日の国際政治の中では、コメさえも鎖国することが許されないということか。

農業も非農業者も、国際社会を生き抜くには、世界の一員であるという自覚と、地球規模で物事を考えることが求められている。

そのことを基盤に、コメの自給体制、なかならず競争に強い農業の確立を政治は急がなくてはならない。

(古家崎)

編集委員

- 委員長 古家崎康彦
- 副委員長 谷口佐賀雄
- 委員 松原 兼夫
- 委員 細川 光利
- 委員 勢屋 康一

編集委員会では、「議会だより」についてのご意見、ご感想を募集しています。

シリーズ 用語解説

― 地方交付税 ―
地方交付税とは、県や市町村間の財源のアンバランスを調整し、地方行政の計画的運営を保障す

るため、国から交付される交付金のことを言います。この財源には、所得税・法人税・酒税・消費税・タバコ税などの国税の20〜32%が当てられています。地方交付税は、普通交付税(94%)と特別交付税(6

%)に分かれています。普通交付税は、その団体の国勢調査人口、道路延長、児童生徒数などを基に算出した基準財政需要額から税や他の交付金を差引いて得た金額となります。

す。従って税収入が非常に多く裕福な団体には交付されません。この画一的方法により計算される普通交付税を補完する目的で特別交付税があります。この特別交付税は、普通交付税で補足でき

なかつたものや、普賢岳噴火や北海道沖地震のような突発的災害が発生した場合に交付されます。岡垣町で発生したマリシー号の撤去費用についても特別交付税の対象となっています。